

キラキラ
しんいち

第188号

<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/hokubutiikishinkou/269916.html>発行：新市交流館
電話番号：(0847)52-5546ホームページ
のQRです！

祝 ご長寿おめでとうございます

新市学区では、9月15日(月)、77歳以上の招待者をお迎えし
新市交流館ホールにて敬老会が行われました。

新市学区対象者1,003人(男性354人、女性649人)のうち
最高齢者は104歳です。

式典は、敬老会実行委員会の河上実行委員長の挨拶で始まり、来賓の新市中央中学校、
津田知明校長、新市小学校、本宮政尚校長の祝辞をいただきました。

また、アトラクションでは、新市中央中学校吹奏楽部の
素晴らしい演奏によりアンコールの音が響きました。

アンコール曲は、会場の拍手の多さにより決定するなど、
会場が一体となり楽しむことができました。

次に新市小学校1年生が運動会で踊った元気なダンスや、
『手のひらを太陽に』の歌で、会場の皆さんも一緒に歌い、
客席の間を、手を振りながら退出し盛りあがっていました。



新市中央中吹奏楽生徒



新市小学校一年生児童

最後のアトラクションは神代神楽油木保存会による、『猿
田彦の舞』をはじめ、『大国主命』では、皆さんにお祝いのお餅
が手渡され喜んでいらっしゃいました。

『大蛇退治』では、会場から賑わいの声があがるなど、楽しい
ひと時を過ごしていただきました。今後とも、健康に留意され、
お元気でお過ごしいただき、来年の敬老会を迎えられますよう、
お祈り申し上げます。



猿田彦の舞



大国主命



大蛇退治



われもこう

10月のお花は吾亦紅をご紹介します。

10月のお花は秋の野山にさりげなく咲く野草で、深紅の小さな穂花を風に揺らす姿が印象的です。花言葉は「変化」「愛慕」「もの思い」。特に「もの思い」という言葉は、その控えめな姿とどこか郷愁を誘う雰囲気にとぴたりです。日本の古典や俳句にも度々登場し、寂しさや哀

愁を象徴する花として親しまれてきました。

エピソードとして有名なのは、戦後の歌謡曲『われもこう』に歌われたことです。

秋の風景の中で吾亦紅を見て、遠い人への思いを重ねる歌詞は多くの人の心に残りました。

また、作家・井伏鱒二もその著作の中で吾亦紅を取りあげ、どこか人生のはかなさを映す花として描写しています。さらに、昭和天皇が吾亦紅を好まれ、皇居の庭にも植えられたという逸話もあります。

華やかではないものの、日々の暮らしや人の心にそっと寄り添う花として愛され続けています。

今回は吾亦紅、ソルゴーユリ、ドラセナをシンプルにガラスの器に生けてみました。一輪挿しをそっと生けるのも良いですね。あなたも吾亦紅を生けてみてくださいね。



北部市民フェスティバル2025

【と き】11月30日(日) 10時から15時

【ところ】福山市北部市民センター
(福山市駅家町倉光37番1号)

体験 展示 模擬店 ステージ

ボランティア募集 10月31日申込締切

■活動日時 11月30日(日) 9時から16時
うち数時間でも可

■まちパス対象事業

■問合せ・申込

北部市民フェスティバル実行委員会
事務局(北部地域振興課)

TEL084-976-9460

Fax084-976-8150



新型コロナワクチンの定期接種がはじまります

2025年度
(令和7年度)

高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種

対象者 福山市に住民票のある人で

- ・65歳以上の人
- ・60歳～64歳の人で、心臓・じん臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいがある人

実施期間 2025年(令和7年)10月1日～2026年(令和8年)3月31日

※高齢者インフルエンザ予防接種と実施期間が異なります。

個人負担金 4,700円 ※昨年度と自己負担が異なります。

●次のいずれかに該当する人は、個人負担金免除になります。

接種を受ける前に、【個人負担金免除の証明書】を取得して医療機関に提示してください

個人負担金が
免除になる人

- ・市民税非課税世帯の世帯員
- ・生活保護受給者
- ・中国残留邦人等の支援給付受給者

接種場所 福山市内の実施協力医療機関

- 原則として予約が必要です
- 医師が必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンとの同時接種も可能です。医療機関に確認してください。



2025年度
(令和7年度)

高齢者インフルエンザ予防接種

この予防接種は、インフルエンザの発病や重症化のため有効です。
体調が良いときに早めに接種をご検討ください。

実施期間 2025年10月1日(水)～2026年1月31日(土)

実施場所 福山市内の実施協力医療機関

対象者 福山市に住民票のある人で

- ・65歳以上の人
- ・60歳～64歳の人で、
心臓・じん臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルス
により免疫の機能に障がいがある人

個人負担金 <<通常>> 4,000円程度 → **1,600円**

●次のいずれかに該当する人は、個人負担金が免除になります。

接種を受ける前に、【個人負担金免除の証明書】を取得して医療機関に提示してください

※該当しない人は証明書を取得する必要はありません。

個人負担金が
免除になる人

- ・市民税非課税世帯の世帯員
- ・生活保護受給者
- ・中国残留邦人等の支援給付受給者

問合せ先 北部保険福祉課
976-1231

なんと
65歳以上の
負担金が…
半額以下!

安心。
早めが

年末年始「密」に
なる前に行きましょう!



みんなの終活

エンディングノート ナビゲーターの
赤川なおみです！

知恵と経験がつなぐ安心のまち
～人生の先輩に「ちょっと声かけ」
はじめませんか？

(No.87)

こんにちは。「人生悔いなし！を全力サポート」の特定非営利活動法人エンディングノート普及協会理事長の赤川なおみです。10月に入り一気に秋を感じますね。毎月地域の中の互助についてお伝えしていますが、互助といっても年齢を重ねると「支えられる側」として見られがちではありませんか？実は長年にわたり社会や家庭を支えてこられた高齢者の方々は、地域にとって欠かせない、「支える力」を持っておられます。それが「知恵」と「経験」なのです。

◎「昔の知恵」が今を救うことがある

私たちの暮らしは便利になりましたが、電気や水道が止まったとき、インターネットやスマートフォンが使えなくなったときを想像してみてください。特にスマホが使えなくなると、家族に連絡すらできない！という人も増えています。私が子どもの頃は、台風が来るといえば、水も電気も止まるものだと思って準備をしていましたが、最近ではあまり考えなくなりました。しかし、まさかの事態は起こります。そんな時こそ、昔ながらの工夫や人とのつながりが大きな支えになります。

例えば、井戸水や雨水を活用した生活の知恵。ご近所づきあいを円滑にするための言葉かけなど。これらは教科書には載っていない、まさに「地域の財産」です。実際、災害時の避難所では、年配の方が率先して「こんなときは昔こうしていた」と提案し、若い世代がそれを実行に移して助かったという事例が数多く報告されています。

そして、戦後の混乱期や物が不足していた時代を経験された方は、「ないものを分け合う工夫」を知っています。現代は物があふれる時代ですが、心の余裕や人との関係は失われがち。そんな時に、無理せずできる支え合い」を教えてくれるのも、地域の人生の先輩方なのです。



◎互助は一方通行じゃない！

見守りの形についてお話した時にも触れましたが、「見守る側と見守られる側。そんなはっきりした境界線は、本当はありません」。互助とは「助け合う」こと。つまり「支える人」と「支えられる人」が固定されているわけではなく、その時々で役割が入れ替わるんです。高齢者が若い世代に知恵を渡し、若い世代が体力で支える。そんな循環こそが、誰もが安心して住み続けられるまちをつくる力になるのではないのでしょうか。

◎今月は、ぜひ「一声」かけてみませんか？

「最近あの人を見かけないな」と気づくことが見守りの第一歩であるように、ぜひ地域の人に「ちょっと一声」かけてみませんか。「大丈夫ですか？」と声をかけるのは、最初は少し勇気がいるかもしれませんが、でも、慣れてしまえば案外自然にできるものです。そしてその一言が、世代を超えた互助のきっかけになるはずですよ。

